



# ハイロー(HighLow) 基本ルール

トレードには必ずルールと、

それに即した**禁止行為**が存在します！

ハイロー  
(HighLow)  
のルール

順序よく確認すれば  
簡単に把握できる

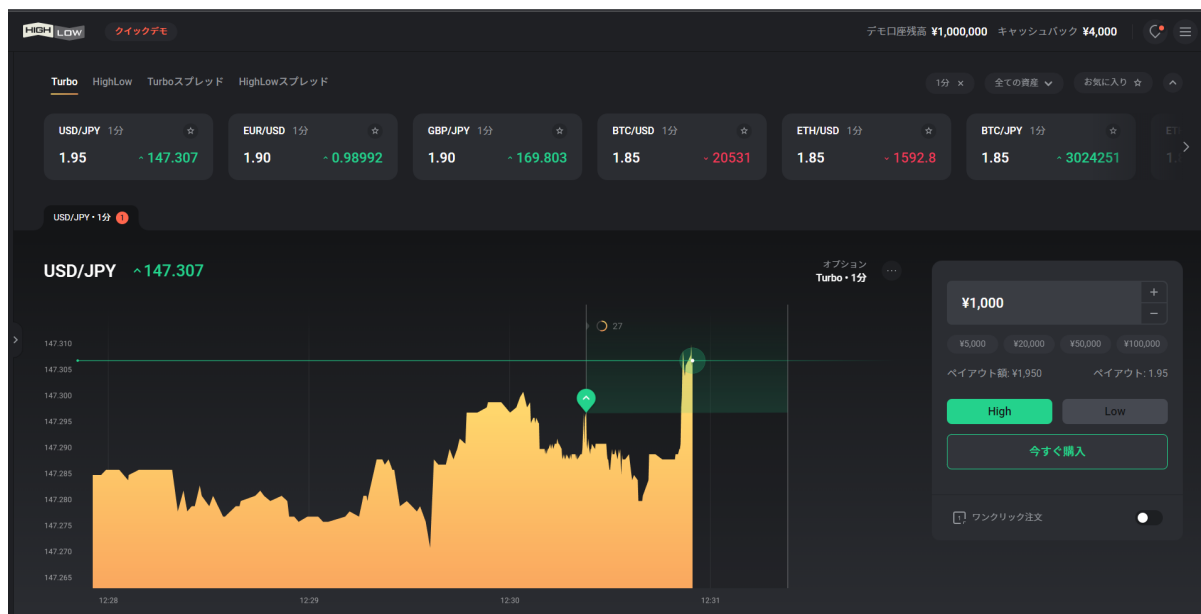
## 【著作権について】

- このレポートは著作権法で保護されている著作物です。
- 著作権は SHOEISHA に帰属します。
- このレポートの開封をもって下記の事項に同意したものとみなします。
- 使用者は本冊子から得た情報を、著者の事前の許可なく一般に公開する事を禁止します。
- このレポートに書かれた情報は、作成時点での著者の見解等であり、著者は事前許可を得ずに誤りの訂正、情報の最新化、見解の変更等を行う権利を有します。
- このレポートの作成には万全を期しておりますが、万一誤り、不正確な情報等がありましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。
- このレポートを利用することにより生じた、いかなる結果につきましても、著者・パートナー等の業務提携者は、一切の責任を負わないことをご了承願います。

## 目次

◆はじめに	3
◆ハイロー(HighLow)のトレードルール	4
1-1: ハイロー(HighLow)、4つのタイプ	4
1-2: 4つのタイプ、共通ルール	5
2-1: タイプ① Turboの場合	6
2-2: タイプ② High Lowの場合	8
2-3: タイプ③ Turboスプレッドの場合	10
2-4: タイプ④ High Low スプレッドの場合	13
◆禁止行為と口座凍結について	14
禁止行為	17
口座凍結とは	18
凍結するであろう行為	20
稼ぎ過ぎると凍結される?	23
◆さいごに	25

## ◆はじめに



「ハイロー(HighLow)のルールが多すぎてよくわからない」

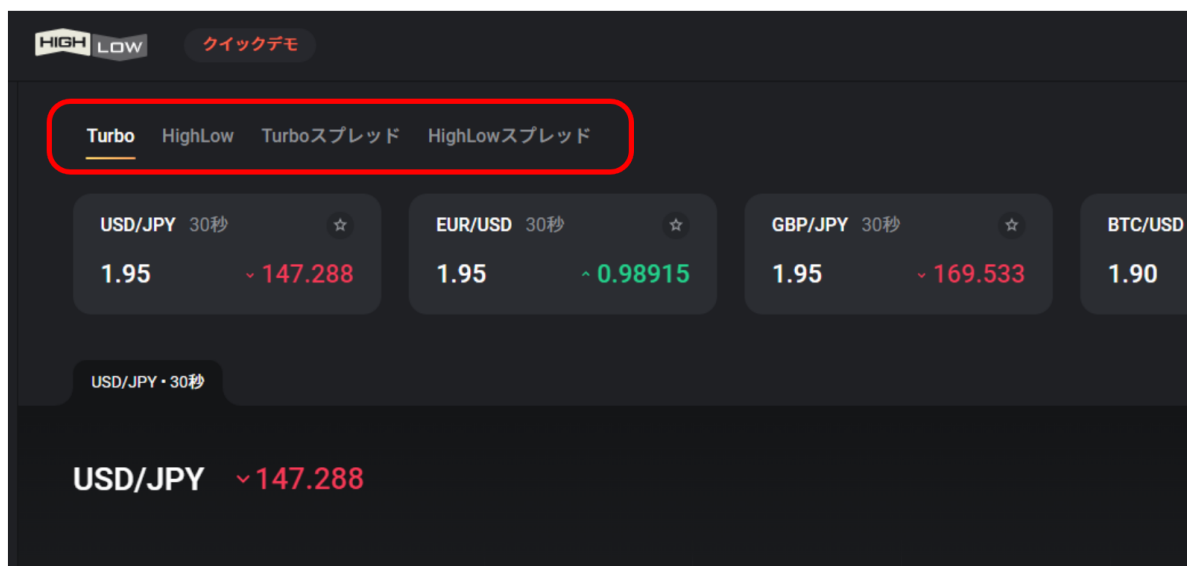
「基本ルールもわからない」

そんな方のために、ハイロー(HighLow)の基本ルールについて解説をしています。

## ◆ハイロー(HighLow)のトレードルール



### 1-1: ハイロー(HighLow)、4つのタイプ



デモトレードの部分でもご説明しましたが、  
トレードのタイプは以下の4つですね。

- 1 Turbo
- 2 High Low
- 3 Turboスプレッド
- 4 High Low スプレッド

## 1-2: 4つのタイプ、共通ルール



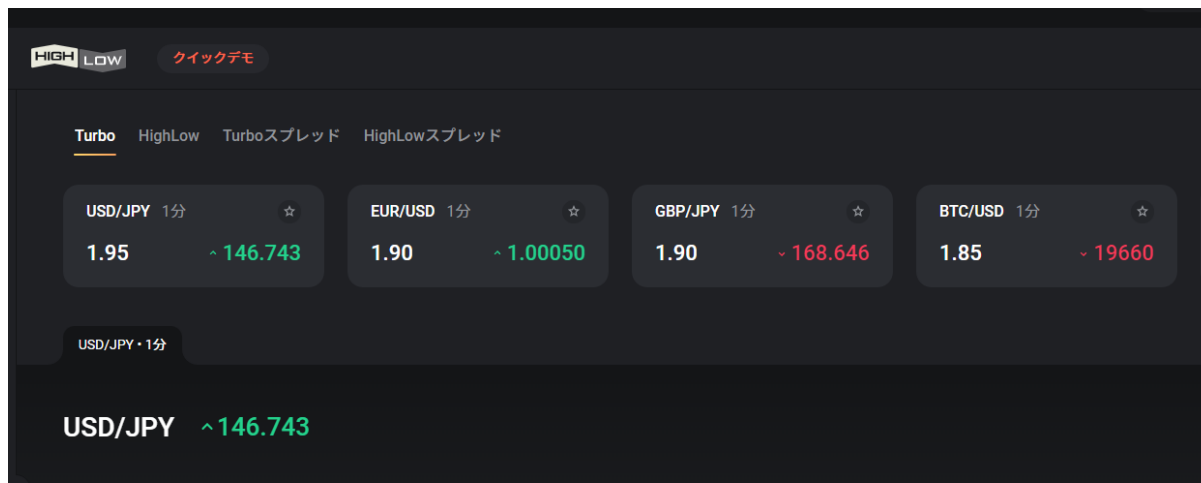
4つのタイプに共通するルールから解説します。

- ▶ エントリーした時のレートよりも、ゴール時の価格が上がっているか 下がっているかを予想する投資であること
- ▶ ゴールとなる時間と、ペイアウト率、スプレッド幅(値幅)は取引方法により異なること
- ▶ エントリー金額は1,000円~200,000円の範囲内であること
- ▶ 予想が的中すれば、ペイアウト率に従い払い戻しされ、予想が外れれば掛け金は全額没収されること
- ▶ エントリー時と同じレートでゴールすると引き分けではなく「負け」
- ▶ 自動売買ツール(EA)の利用は禁止
- ▶ 転売機能は全ての取引方法で利用可能、利用は判定時刻の1分前まで

これらはどのタイプを選んでも同じルールとして適用されます。  
基本ルールなのでしっかりと確認しておきましょう。

それでは、ハイロー(HighLow)のトレードルールについて、  
4つのタイプ、それぞれ詳しく解説していきます。

## 2-1: タイプ① Turboの場合



こちらの「Turbo／1分」が、  
本CLUBで行うトレードのタイプとなります。

短時間でのトレードで、  
「開始時刻」と「判定時刻」が決められていない方法となります。  
判定時刻は、自分で決めることができます。

トレード時間は4つに分けられています。

・30秒	エントリーをいれた30秒後に判定 ペイアウト率【1.95倍】
・1分	エントリーを入れた1分後に判定 ペイアウト率【1.95倍】
・3分	エントリーを入れた3分後に判定 ペイアウト率【1.90倍】
・5分	エントリーを入れた5分後に判定 ペイアウト率【1.85倍】

表からも見て取れるように、トレード時間が短いほどペイアウト率が  
高くなっています。

判定時刻が最短で30秒、最長でも5分となっており、短時間で勝負が決まりペイアウト率が高いため初心者を取り組みやすいトレードルールと言えます。

簡単でリスクが低いわりに、決してペイアウト率が低いわけではありません。

ここが、海外の運営業者にもかかわらず日本人トレーダーの間で高い人気を維持している理由の1つと言えるでしょう。

本CLUBで行うトレードも、**「Turbo」×「1分間」**を選びます。

もちろん理由もあります。

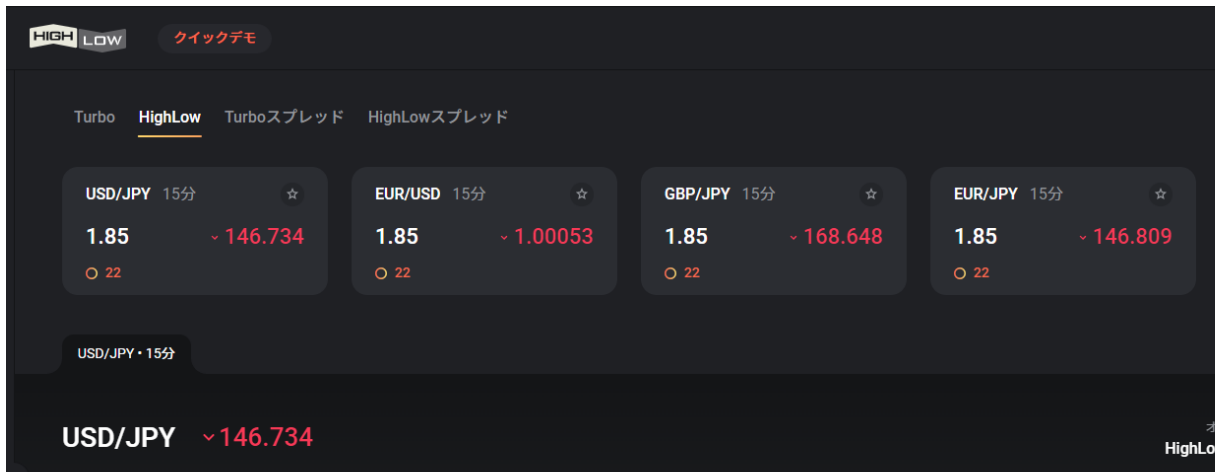
スプレッドと違い理論が組み立てやすいです。  
一定したトレードを落ち着いてできます。  
「1分」を選ぶことによりエントリーポイントへの幅が広がります。  
ペイアウト率も「1.95倍」と、高い方です。

などの理由があげられます。

初心者から経験者まで、勝率70%以上／最高80%を目指すには、最適なタイプの1つと言えるでしょう。



## 2-2: タイプ② High Lowの場合

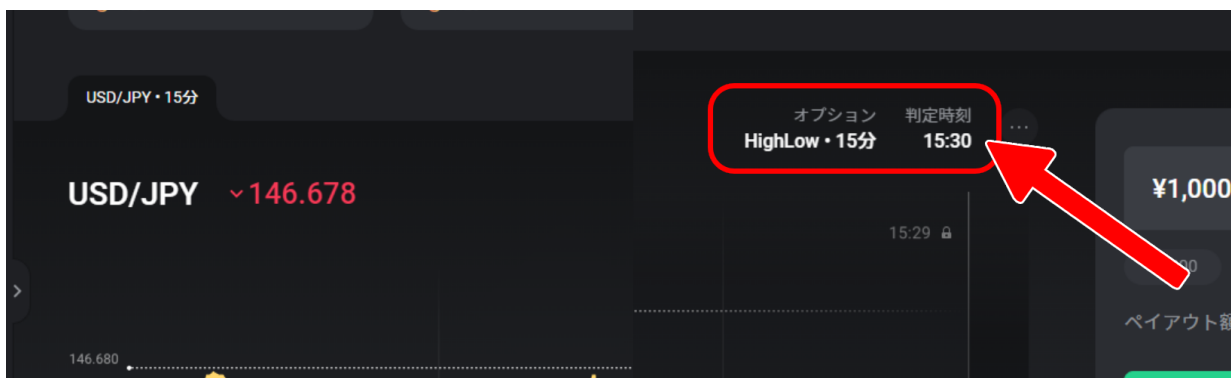


ハイローは、あらかじめ定められた判定時刻で、取引を申し込んだ地点よりも金額が高いか低いかを当てる、ハイロー(HighLow)の最も代表的なタイプです。

このタイプには、「3つのトレード時間」があります。予想の見通しが立ちづらいトレードほど、ペイアウト率が上昇します。

・15分	1時間に4回／ ペイアウト率【1.85倍】
・1時間	1時間に1回／ ペイアウト率【1.90倍】
・1日(23時間)	1日に1回／ ペイアウト率【1.95倍】

この取引方法で注意したいのが、判定時刻が決まっていることです。15分取引や1時間取引であっても、判定時刻は自分がエントリーした15分後や1時間後ではないのです。



上記の画像にあるように、これは15分トレードの場合ですが、  
自分が  
判定時刻は:「**15:30**」です。

つまり「15:15 ~ 15:30」の間の15分の間、

「15:01」にエントリーしても、  
「15:20」にエントリーしても、  
最終判定の時刻は ⇨ 「15:30」です。

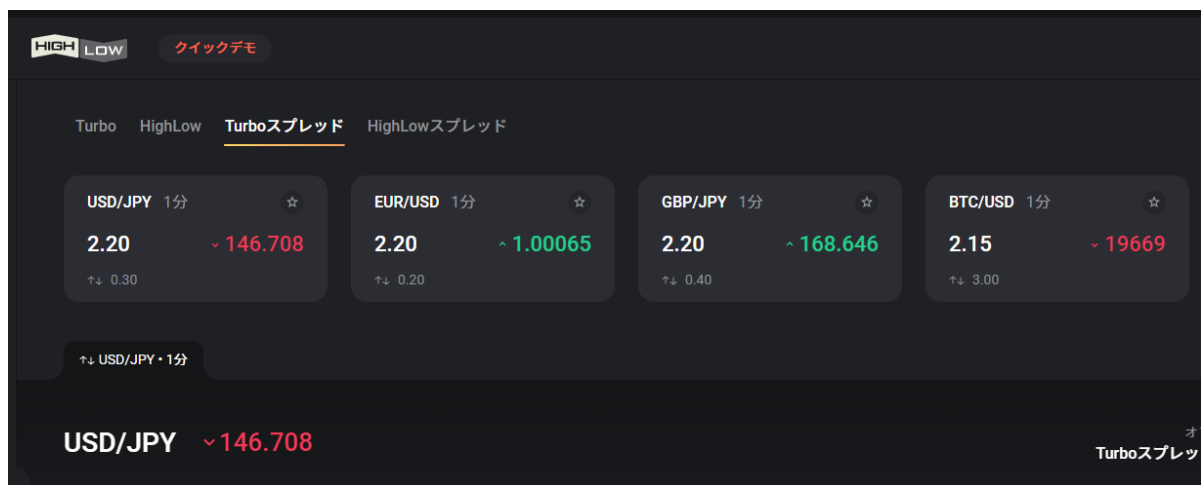
ただし、15分トレードの場合、  
最終エントリーは1分前の「15:29」までとなります。  
直前の10秒前にエントリーしようとしてもダメです。



(1日トレードの場合は15分前となります)

使い方次第では稼げる可能性がありますが、  
初心者には不向きなトレード方法とも言えます。

## 2-3: タイプ③ Turboスプレッドの場合



①番のトレード「Turbo」に、スプレッドが追加された方法です。  
ハイロー(HighLow)で最も高いペイアウト率のトレードでもあります。

・30秒	ペイアウト率【2.30倍】
・1分	ペイアウト率【2.20倍】
・3分	ペイアウト率【2.05倍】
・5分	ペイアウト率【2.00倍】

「スプレッド」というルールが追加されたトレード方法で、  
トレーダー側がやや「不利な」条件下のもとで取引を行うかわりに、  
ペイアウト率が2倍以上と高く設定されています。

その不利な条件というのが、スプレッド＝幅になります。

「バイナリーオプション基礎知識」でも触れましたが、  
ここでも、再度記載しておきます。

スプレッドと言うのは「買値」と「売値」の差額のことです。  
つまり、トレーダー側の負け判定の幅が少し広くなる代わりに、  
ペイアウト率が上昇するトレードとなります。

こちらにもスプレッドの概念となる、画像をのせます。

## 【通常タイプのトレード】



## 【スプレッドがあるタイプのトレード】



上記の図で見える部分が、スプレッドと呼ばれる「幅」になり、幅の間でのトレードは、トレーダー側の「負け」判定となります。

このスプレッドは、海外の運営業者では、よく使われているトレード・タイプで、ハイリスクハイリターンのトレードと言えます。

初心者の多くが、**ペイアウト率の高さだけを見て**  
「スプレッド」でエントリーしがちですが  
**勝率が低い**ことに気がつくことなくトレードしてしまいます。

もちろん、どのタイプでトレードするかは、個人の好みとなりますが、本CLUBではスプレッドでのトレードはしていません。

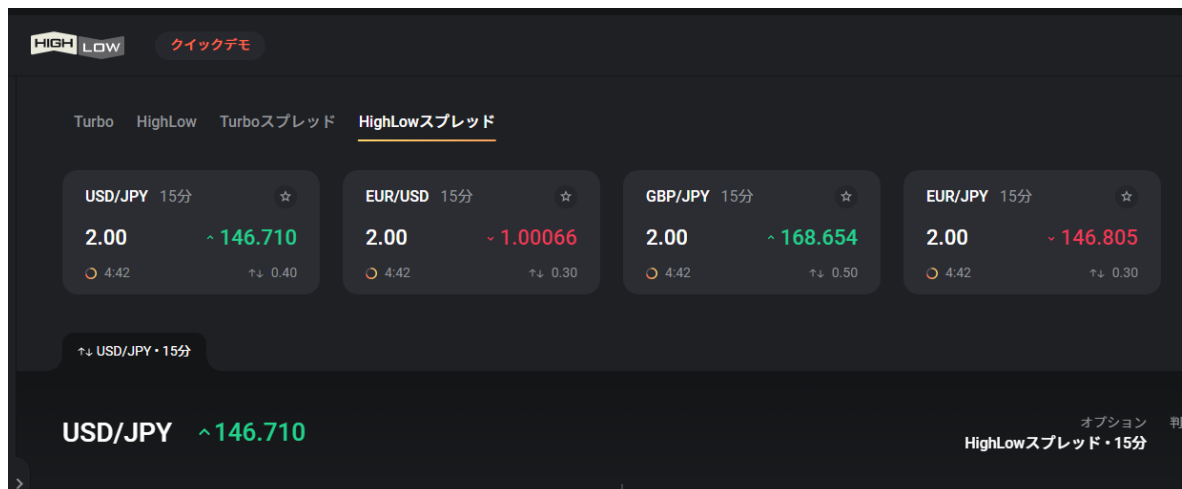
こちらも一度記載したことですが、その理由は、セオリーに即したトレードをすることが非常に困難だからです。

本CLUBでの目標は、あくまで「勝率70%以上／最高80%」を超えることを前提にした、月収100万の利益を確保することにあります。

ペイアウト率が良いからといって、手っ取り早く金儲けをしようというトレード・プログラムではありません。

トレードにおいて重要なのは、最終的にきちんと利益を出すことにあります。ギャンブルのような一か八かの勝負を楽しむものでは決してありませんので、そこはしっかりと意識しておきましょう。

## 2-4: タイプ④ High Low スプレッドの場合



High Low スプレッドは、基本的にはHigh Low と同じルールです。違いは「スプレッド」=「幅」だけになります。

・15分	1時間に4回／ ペイアウト率【2.00倍】
・1時間	1時間に1回／ ペイアウト率【2.00倍】
・1日(23時間)	1日に1回／ ペイアウト率【2.00倍】

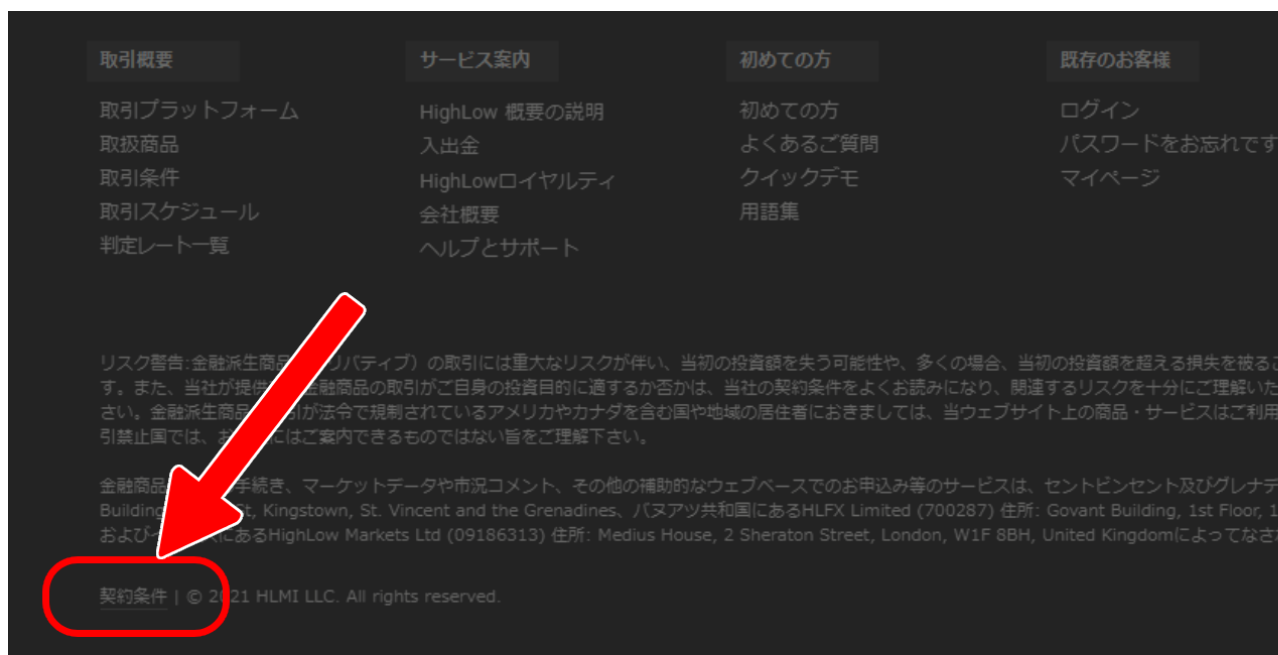
High Lowに、「スプレッド」というルールが追加されたトレード方法で、トレーダー側がやや「不利な」条件下のもとで取引を行うかわりに、ペイアウト率が2倍と高く設定されています。

本CLUBでは行いません。

## ◆ 禁止行為と口座凍結について

ここでルールの中でも厳しいお話をしておきましょう。禁止行為です。

全ての禁止行為を確認するのは、まず、  
ハイロー(HighLow)のTopページを一番下まで下げて、底辺にある  
小さな文字「契約条件」をクリックしてください。



下記の専用ページが開きますので、PDFをダウンロードしてください。



「口座利用条件」というPDFから確認できます。



(2020年9月時点の情報／※運営業者により新しくなることがあります)

まずは禁止行為に関して、運営業者であるハイローが明確に記載している文章を、ここに記載します。

## 禁止行為

### 14.1

発行者がその単独裁量権により、ある取引口座が禁止行為に関係していると決定した場合には、お客様は、発行者がその口座およびその他の関連した口座(発行者のみが決定)を制限し、および／または解約し、全てのオープンポジションの決済および適用される料金及び手数料控除後の口座価額を払い込むことを容認するものとします。

発行者はその権利の制約を受けることなく、資金残高もしくはかかる禁止行為から直接に得られた利益または禁止行為に関連して得られた利益の取引による利益を没収することもできます。

(口座利用条件より一部抜粋)

上記からの文章からも確認できるように、「禁止行為に関係していると決定した場合」と記載されています。これは運営業者側に禁止行為を決める権限があるということです。



とにかく手軽にできるトレードなので、「連続購入・連打」をはじめ、様々な手法を用いて何とか儲けを出そうとするギャンブラーが後をたちません。

こうした禁止行為を定め、違反した場合には口座を凍結することは、ハイロー(HighLow)だけでなく、FX業者やバイナリーオプション業者なら、ほぼどこでも行っていることです。

完全凍結とまではいかないにしても、禁止行為をしたために、一時的にトレードに制限がかかる限定凍結の話はよく聞きます。

最終的に口座を凍結するかどうかは、運営業者側であるハイロー(HighLow)にあるので、こうすれば凍結されない、という明確な方法はありません。

ですが、禁止行為と疑われないトレードを健全にすれば、何の問題もないのです。口座契約条件に反することのないように、きちんと一通り確認しておきましょう。

もちろん、いたって普通にトレードをしている場合に、口座凍結のようなことは起こりませんので安心してください。

注意するのは、ネットなどに転がっている情報や、これなら100%勝てるといった手法を用いてみたら、それが禁止行為に抵触していた、といったケースです。

安易にそうした手法を用いてトレードをすることは、絶対にやめましょう。

## 禁止行為

詳細はPDFを確認してください。

ここでは、特に注意しておいておいた方がよい、明確に記載されている禁止行為部分を抜粋したものを掲載します。

- (a) 第三者からの金融の助言、推奨、声明もしくは解説に主に基づいてポジションを取ったり閉じたりすること。その第三者が免許を有しているか、そのようなことをする許可を持っているか否かには関係しない
- (b) インサイダー取引
- (c) 口座なりすまし
- (d) お客様に関する、もしくは第三者の現在位置に関する疑惑を隠し、または生み出し、または私たちが欺く企ておよび実例
- (e) お客様に関する、もしくは第三者のデバイスの位置に関する疑惑を隠し、または生み出し、または私たちが欺く企ておよび実例
- (f) お客様の納税住所に関する疑惑を隠し、または疑惑を生み出し、または私たちが欺く企ておよび実例
- (g) 仮想専用サーバー（VPS）もしくは仮想マシン（VM）から取引すること
- (h) 仮想プライベート・ネットワーク経由で取引をおこなうこと
- (i) 口座保有者以外の誰かもしくは何かが口座で取引を行うこと。彼らが法人であるか否かを問わない
- (j) TOR ブラウザもしくは類似のサービスを使う
- (k) 私たちの IT インフラストラクチャーを攻撃しようとする、もしくは私たちのサーバーの動きを遅くしようとする

(l) 裁定取引、価格待ち時間またはシステム・オーバーロードを使った取引を企てる

(m) 単独の IP アドレスから複数の口座で取引すること

(n) 一つのデバイスから複数の口座で取引すること

(o) 発行者がリスクを効果的に管理する能力、または金融サービス義務を遵守する能力に悪影響を及ぼす可能性のある手段、戦略、計画、デバイスの使用

(p) スキャルピングのような異常な売買もしくは取引量の急激かつ重大な変化と発行者が考える事態に関係する取引パターン

(q) オプション取引が違法である法域における取引。

(口座利用条件P6~7より一部抜粋)

この禁止行為の文面の前には、「禁止行為とは、以下の事項を含みますが、これらに限定されるものではありません」とも明記されています。

そこで、最初に紹介した文面が活用されます。運営業者側がそれは禁止行為だと判断したら、禁止なのです。とにかく、これなら勝てるからといって、おかしい手法は用いないことが大切です。

では、明確に記載されている禁止行為をもとに、さらに詳しく、口座凍結に関してご説明していきます。

## 口座凍結とは

ハイロー(HighLow)で口座凍結するとは、限定的に制限がかかりトレードができなくなることや、完全に入出金が停止となりトレードができなくなるということを指しています。

口座凍結には、  
「限定凍結」と「完全凍結」の2種類があります。

#### **【限定凍結】を受けた場合：**

- ・同じ通貨で持てるポジションが「1つ」までになる。
- ・1ポジションの上限金額が「5,000円」になる。

これは入金・出金には制限がかかりませんので、上記の条件ならば、  
なんとかトレードは続けられる状態です。

#### **【完全凍結】を受けた場合：**

- ・全てのトレードが停止する
- ・入金・出金の手続きが停止する

サイトへのログイン以外、口座の利用が完全にできなくなります。

---

完全に口座が凍結するのは、  
もちろんかなりの禁止行為をした場合になります。

が、しかし、どの行為をすると「限定」で、  
また「完全」凍結になるのか、ということではなく、  
基本的にはどちらであろうと禁止行為はいけません。

さらに、上記に抜粋したPDFに記載されている禁止行為と、  
記載はされていないが、行くと禁止とみなされる危険性のある  
事柄を含めて、リスクある行為を記載しておきます。

## 凍結するであろう行為

### ・マーチンゲール・

ギャンブルをする人間が必ずしてしまう最も愚かな手法です。  
すでに何度かご紹介していますが、今一度、記載しておきます。

これは、勝負に負けた時に、次のトレードで倍の金額でエントリーをする方法です。

例えば、1回目の掛金が1,000円で負けたら次は2,000円、さらに負けたら次は4,000円というように掛金を上げていきます。

この手法は、最終的に勝てれば今までの負けを取り返すことができますが、負けた時の損失が非常に大きくなってしまいます。

当たり前ですが、回数を重ねるごとに必要な掛金が大きくなるので口座残高がすぐに限界にもなりやすいです。

1回行ったくらいで凍結の対象にはなりません、連続でマーチンゲールを使っているとリスクがだんだんと高くなります。

マーチンゲール手法を採用している「自動売買ソフト」が多いため、使用を疑われる原因にもなるためです。

凍結のリスクももちろんですが、とにかく本CLUBでは、マーチンゲールは典型的なギャンブル手法なので、いっさいオススメしておりません。**絶対に止めておきましょう。**

### ・連打法での取引・

バイナリーオプションのトレードをするのに、ネットでは良くも悪くもあちこちで紹介されている手法の1つです。

これは、変動幅が高い相場の際に「何度もエントリーを連打」で行うことです。この方法は凍結のリスクはもちろんですが、莫大な損失にもつながりかねません。止めておきましょう。

### ・自動売買・架空取引・

何度も自動的にエントリーを繰り返す自動売買ツールの使用や、高速エントリーツールなどの使用も禁止されています。

別のハイロー(HighLow)の口座で逆のエントリーをしておいて、両建てをすることも凍結の原因となります。

### ・ブラックボックス・

これは前述の自動売買とほとんど同じです。本人がトレードをするのではなく、システムが代わりにエントリーをすることを意味します。

### ・スキャルピング・

これは、秒～分単位の短い時間のうちに何度もトレードを繰り返すことです。FXの海外業者では禁止としない業者もあるのですが、ハイロー(HighLow)では禁止行為になります。またPDFには、「スキャルピングのような異常な売買、、、」と明記されていますので、類似する行為は全てダメです。

### ・連続購入や連打・

大きな金額で高速購入や連打をすると、自動売買ツールの使用だと疑われる可能性があります。

### ・入金をしたのにトレードをしない・

入金をしたのになかなかトレードをしないとリスクがあります。これはカードの利用額を現金化しようとしているのではないかと疑いをもたれてしまうからで乱用と呼ばれています。

#### ・両建てエントリー・

同じ通貨ペアで、ハイにもローにもエントリーすることを「両建て」と言います。ペイアウト率が高いトレードだと利益が出ますので、この行為におよぶギャンブラーがいますが、禁止行為です。

#### ・居住国以外のIPアドレスからの取引・

IPアドレスを分散し、日本に住んでいるのに日本以外のIPアドレスを取得して使うのも禁止しています。

また海外のIPアドレスからトレードをするとシステムエラーが出ることもあります。悪質な行為をしていなくても凍結されることもあります。

### 《完全凍結されるリスクの高い行為》

#### ・トレード以上の大きな金額の出金・

トレード額に反して異常に大きな金額の入出金があると、マネーロンダリングを疑われる原因になります。毎日のように、余りにも頻繁に出金を行う行為も疑われやすいと言われています。

マネーロンダリングまでの疑いを持たれるとなると、禁止行為以上に、もはや犯罪行為とすら認識されますので、異常に大きな金額の出し入れは止めておきましょう。

#### ・市場操作・

これは相場操縦的行為の事です。大きな金額でエントリーをして取り消しをしたり、価格を固定させるような注文などを繰り返していると、市場操作を怪しまれ凍結される可能性が出てきます。

## ・インサイダー取引・

内部事情を詳しくわかっている人が自分に有利な状態でトレードを行うことをインサイダー取引と言います。

ハイロー(HighLow)でもインサイダーが疑われるような怪しい動きがあった時は、もちろん凍結の対象となります。

---

市場操作やインサイダー取引に関しても、マネーロンダリング同様、もはやれっきとした犯罪行為に属します。  
余りにもそれは異常極まりない行為です。絶対にしてはいけません。

## 稼ぎ過ぎると凍結される？

実は、一度も出金せず、大きく利益を延々と稼ぎ続けていると、凍結されます。

これは禁止行為として明記されているわけではありません。

大体の目安ではあるのですが、出金もなく、「1千万円」以上ほど稼いでしまうと凍結します。

あくまで限定凍結ではあるのですが(つまり出金に問題はない、ということです)、トレードに影響がでることは間違いありません。

いずれにしても、それ以上続けてトレードをすることは困難になりますので、ハイロー(HighLow)でのトレードを止めて、他に移ることになります。

こうした背景も1つの理由として、本CLUBでは、総額金額「200万円」を目標にして「出金」いたします。



何も、欲張って一気に稼ぐ必要はありませんよ。

「月収100万円」でも利益は充分すぎるほどあるのですから、  
きっちり利益をあげながら、そして、なおかつ  
長くトレードを楽しむことを心がけましょう。

## ◆さいごに

自動的にエントリーを繰り返す自動売買ツール、高速エントリーツール、連打法、、、

こうしたことをすれば、手っ取り早い利益確保につながると考える  
ずるいトレーダー(ギャンブラー)たちがいることは確かです。

それゆえに禁止されているわけです。

もちろん最終的に利益を得ることを目的にトレードはするわけですが、  
ルールを破ってでも何をしてでも利益確保を目指すようなことだけは  
絶対にしないでくださいね。

それに、このようなルール違反の方法を使ってトレードをしてみても、  
結局見つかってしまいます。相手はプロの集団なのですから。

ルール違反行為を見つけることなど、運営している人たちからすれば、ごく  
簡単なことです。「ちょっとぐらい、ばれないだろう」なんてことは間違っても考  
えないでください。

それに、システムツール、マインドセット、資金運用と、本CLUBにおける必  
須セオリーを確実に知れば、このようなちっぽけなルール違反の方法に頼る  
必要なって、どこにもありませんよ。

健全かつ楽しいトレードを実践してくださいね。

松岡ゆず